

横浜市旭区長 殿

【横浜市旭区民文化センター】
令和 8 年度 事業計画書

横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体

〔 横浜市旭区民文化センター 〕
令和 8 年度事業計画書
〔 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 〕

施設の概要

施 設 名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所 在 地	横浜市旭区二俣川一丁目 3 番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建の、地上 5 階および 6 階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564 m ²
開 館 日	平成 2 年 8 月 4 日

指定管理者

法 人 名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町 5 番地 1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和 58 年 1 月 22 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

地域コミュニティの中心的な施設として、地域に交流と活性を生み出す地域のハブ的な役割を果たすことを目的とする。多くの区民に、良質な文化芸術に触れる機会を提供し主体的に区民が文化芸術に関わる場を提供する。中でも区民が直接的に文化芸術に関わり、互いに交流できる参加型や地元企業や学校、商店街、アーティスト等と連携する地域一体型の事業に重点を置いて展開する。そしてすべての活動の基盤である施設については、利用者・来館者が安心して利用できるよう安全性の確保を第一義とし、利用者・来館者の立場に立った施設運営を心掛ける。

実施方針

① 地域のネットワークを形成し、活用する

地域の様々な施設や団体と連携し、これまでの運営で培った地域との関係性やそのノウハウを活かしてネットワークづくりを推進する。また、地域のつながりをつくるコーディネーターとしても責任をもって機能し、文化的コモンズの形成を牽引する。

② ワークショップ型事業で区民の交流を促進、担い手を育成する

文化芸術活動に興味関心を抱いた区民をさらなる「鑑賞者」「活動者」「運営者」に育成していくことと、区民の交流を主眼に多様なワークショップ型の事業を実施する。複数回で 1 クールとなるような継続的な事業を中心に、文化芸術の体験やスキル・ノウハウのアップの機会を提供

し、区民同士の交流やつながりを創出する。

③ ユーザビリティの検証と利用者拡大のための各種サービスを検討する

利用者・来館者の立場にたった使いやすい施設運営を行う。これまでのサービス体系も見直し、時代にあったサービスの導入や利用規則の見直しなど、利用者等の意見や要望を吸い上げつつ、利用者拡大の改善策として横浜市・旭区と検討していく。

④ 幅広いジャンルにわたる文化芸術への接触機会を提供する

区民が日常的に文化活動を行う場の提供として、公共性・公平性をもって誰もが利用しやすい環境を整備する。担い手の育成という観点から、特に「練習」「学習」での利用を促進していく。

⑤ オンライン施策の導入と環境整備を進める

令和 6 年度に実施したホームページの改修内容を更に精査し、新たな SNS 導入の検討や動画配信などインターネットを使った施策に積極的に取り組む。マーケティングリサーチに X（旧 Twitter）を活用するなど SNS の新しい使い方を検討し、既存のアカウントも有効に活用していく。

⑥ 安全・安心を優先して運営する

法令等に定められた保守・点検や日常的な保守・維持管理は当然ながら、誰もが心から文化芸術を満喫できる施設を目指して施設運営を行う。また SDGs の観点からも、環境保全・健康等へ配慮した管理運営に努める。

(2) 令和 8 年度の位置づけ

1. 事業の方針

令和 8 年度は、これまでに培ってきた長年の経験と信頼を礎に、継続的な取り組みを大切にしながら、未来に向けた新たな挑戦を進めていきます。横浜で開催される国際園芸博の 1 年前という節目を踏まえ、「文化芸術活動は人々や社会全体の健康、幸福にとって不可欠なもの」という認識を念頭に、区民の期待に応える事業を展開してまいります。また、当館の事業と親和性が高い同じビル内に位置する榊相鉄ビルマネジメントが行っている相鉄沿線エリアマネジメントと協業に力を入れ、二俣川をはじめとした地域でアウトリーチ活動に注力し、情報発信を強化すると共にサンハートの知名度向上に努めていきます。

1. 広報活動

リニューアルをしたホームページ改修の認知度を上げていくと共に、これまで以上に快適な環境を提供し、各種 SNS の有効活用によりきめ細かな情報発信に努める。

■ SNS 活用例

1) HP

館の全ての情報を包括的に分かり易く掲載

2) Instagram

イベント（未就学児向けや小学生向けのイベントは力を入れる）や館のお知らせを掲載。
コンサートやイベントの様子などの紹介動画作成にも力を入れる。

3) X（旧 Twitter）

一般層（20 代～60 代）向けイベントや、空き室状況など館からのお知らせ全般

4) YouTube

自主事業に関するワークショップ参加者へ限定配信

2. 活動内容

区民に好評で定着している人気コンテンツは継続し、一方で新たな利用層を掘り起こす為の新規事業にも積極的に取り組む。

主な事業として、下記コンテンツを実施予定

- ・育成事業である「アンサンブルコンクール」を実施し、最優秀賞受賞者によるコンサート
- ・根強い人気で固定ファン層が付いている落語「あさひ亭まねき寄席」の開催
- ・未就学児向け、シニア向けと年齢層に合わせた「小規模ワークショップ」を開催
- ・低料金で良質な音楽を提供する「ワンコインコンサート」
- ・ジャズの街・横浜として開催しているジャズプロムナードより 2021 年から区民文化センターを中心に参加している「ジャズプロサテライト企画」
- ・2027 年度の国際園芸博覧会に向け、「花に関するイベント(フラワーアレンジメント等のワークショップなど)」を開催し、博覧会に向け区内を盛り上げていく。
- ・地元企業と連携するアウトリーチ事業
(相鉄グループとの連携による相鉄沿線でのアウトリーチ活動の継続)。

2. 運営の方針

1. 利用者にとって使いやすい施設の実現

公共の施設として、誰にとっても利用がしやすい公平性のある対応を基本とし、効率性にも配慮した対応を行う。

2. 利用許可における公共性・公平性の確保

前年度より本格稼働した「横浜市民利用施設予約システム」(以下「予約システム」という。)を的確に運用し、公共性・公平性の確保に努める。新たに導入された「オンラインキャッシュレス・窓口キャッシュレス」の運用に細心の注意を払うとともに利用内容、利用日数などの調整にあたっては、公共性・公平性に十分配慮し、より多くの利用者に施設を利用いただけるようにする。

3. 適切かつ確実な業務体制の維持

受付貸出業務については、「施設運営マニュアル」「予約システム運用マニュアル」等を整備し、全職員・スタッフが統一のとれた対応を行う。受付窓口では利用状況に応じて事務室職員も窓口業務を行うことで適切で確実な利用者対応をする。

4. 利用状況の集計・分析

「予約システム」を活用し、施設利用者を定期的に集計・分析し、利用者サービスに繋げる。また、旭区所管課にモニタリング等を通じて報告、情報を共有し、貸出業務の改善を進めていく。

3. 管理の方針

旭区民文化センターは開館して35年経過している。施設維持保全管理を行っていくうえで設備の経年劣化など突発的な不具合が生じる可能性が高くなることが想定されるため、ビルメンテナンスのスペシャリストとして豊富な実績やノウハウを活かして施設を維持管理する。区民に末永く施設を利用いただけるよう施設の長寿命化を目指す。

1. 一体管理によるスケールメリット

構成団体である相鉄企業は、旭区民文化センターが設置されている二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務、建物維持管理業務を受託しているため、旭区民文化センターも併せた一体管理が可能で、スケールメリットを最大限に活かした維持管理業務を実現する。

2. 設備管理業務

予防保全を第一に日常点検を行う。五感を駆使した点検や検針値による数値の確認により、異臭、異音、異常な温度など、異変をいち早く察知するよう心掛ける。

専門業者による定期点検も実施し、日常点検だけではわからない設備の状況を把握する。

これらの点検内容を日々検証し、維持管理計画の見直しを行う。

3. 安全衛生

利用者や従業員の安全を確保することを第一に考え、警備・清掃を行う担当者は、常日頃から感染予防の重要性を認識して業務を行う。また、適切な感染防止対策を実施することが事業の継続性確保につながることを認識して業務に取り組む。

2 自主事業に関する計画

(1) 文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは大分類として「鑑賞事業」「交流事業」「創造事業」の3つに分け、中分類として5つに、更に小分類として7つのカテゴリーに分けて計画、実施していく。

大分類	中分類	小分類	イベント名
鑑賞事業	プロフェッショナルな芸術家による文化芸術の創造・発信	個性的な公演事業	● ジャズプロ・サテライト企画 ● あさひ亭まねき寄席 ● サンハートプロのアーティストによる公演
	未来への架け橋となる地元・若手アーティストの育成・普及	アーティストの支援	● 最優秀賞受賞者記念コンサート ● ワンコインコンサート ● アンサンブルコンクール
交流事業	地域の共生拠点・文化の発信地	文化芸術と社会的包摂	● アウトリーチ ● バリアフリーコンサート ● オープンデー

		子供の芸術体験を支援	● 読み聞かせ ● すくすくキッズプログラム ● 夏休み子ども体験講座
		地元との連携	● あさひ名画座企画委員
創造事業	サンハートによるプロモーション事業	参加をして楽しむ	● ゴスペルワークショップ ● 小規模ワークショップ
	その他・シーズン企画	その他・シーズン企画	● ホールでピアノ

	取組内容		達成指標
鑑賞事業	プロフェッショナルな芸術家による文化芸術の創造・発信		
	<個性的な公演事業> ☐ トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演を開催する。	☐ 相鉄線直通線の増加、遠方の方や社会人など普段サンハートを訪れない新規層獲得に向けてもアプローチしていく。	
	未来への懸け橋となる地元・若手アーティストの育成・普及		
	<アーティストの支援> ☐ アーティストが音楽活動を通じて社会貢献ができる仕組み作りをするために、人材育成をする。	☐ アンサンブルコンクールにて若手アーティストを発掘し、サンハートの顔として館内公演やアウトリーチ活動など幅広く出演依頼をする。	
交流事業	地域の共生拠点・文化の発信地		
	<文化芸術と社会的包摂> ☐ 活力ある地域社会の実現のために、文化芸術を通して人との繋がりや地域の結束を強めるほか、社会参加の機会を拡充し、地域コミュニティの発展につながる運営を行う。	☐ 地域や依頼内容の特性に応じた配慮あるニーズを探る。あらゆる人が音楽・芸術を通して交流できる様々なコンテンツを引き続き提供していく。	
	<子供の芸術体験を支援> ☐ 次世代の芸術文化の担い手である子供たちに対し、芸術を通して共生社会の中で欠くことのできない想像力や思考力、コミュニケーション能力などの自己表現能力を養うため、文化芸術を享受できる環境づくりを整える。	☐ 未就学児・小学生向けなど発達段階に応じた鑑賞プログラムや創作活動の機会を設け、子供たちの可能性を広げると同時に、成長過程で知識を育める事業展開をアプローチしていく。	
	<地元との連携> ☐ あさひ名画座シリーズにおいては、引き続き地域の方々を中心とした実行委員方式を取り、地域の特性に応じた配慮あるニーズを共に探っていく。	☐ 事業の企画・実施及び広報など多岐に渡る運営を「あさひ名画企画委員」に委ね、地域コミュニティの一つとして確立させる。	
造創	サンハートによるプロモーション事業		

	<参加をして楽しむ> ☐ 参加者同士が一つの体験を共有し、意見交換や、対話をする機会を設けることにより、コミュニティに活力を与え、社会との距離を近づける。	☐ 小規模ワークショップとして、シニア向けのエクササイズなどを開催。また好評いただいているゴスペルワークショップは引き続き開催。
	その他・シーズン企画	
	<その他・シーズン企画> ☐ 空き施設の有効活用を目的とした企画を設ける。	☐ 施設の有効活用と収入向上のため、既存イベントであるホールの時間貸し（ピアノ練習）を引き続き実施していく。

(2) 地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容] ● 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務める。	[達成指標] ☐ 地域を絞り、カフェやケアプラザ、地域公共施設へアウトリーチ活動の宣伝資料を配布し、「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やしていく。その第一案として「アウトリーチ・レクチャーコンサート」を開催。アウトリーチの目的や魅力を演奏とお話して分かりやすく紹介、施設等でのアウトリーチ開催のハードルを下げる。
● 未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティの形成へと繋げていく。	未就学児や小学生の子を持つ親に、サンハートを情報収集の場として「認識」してもらえよう、各種 SNS で未就学児向けの情報コンテンツを取り扱っていき、保護者が情報の渦に飲み込まれない土台作りを行う。

(3) 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容] ● とともに作る：「あさひ名画座委員」の仕組みを継続する。	[達成指標] ☐ あさひ名画座委員が、主体となって活動を企画・運営する体制の定着を目指す。
● とともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援する。	☐ アウトリーチに関して自主事業担当者の立ち合いがなくても開催施設に訪問できる体制が整いつつあるが、十分とは言えない部分もあるため、運営サイクルの確立を目指していく。
● とともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等でともに検討し、地域課題を解決	☐ 若い世代をサンハートの利用者として取り込んでいくため、未就学児向けのイベント時に、保護者に対してアンケートや意見交換の場を設け、館としての課

するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリードし推進する。	題を浮き彫りにしていく。
--	---------------------

3 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容] ●利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やす。	[達成指標] □施設利用者の発表会を広報支援し、直近の諸室の空き状況をホームページの SNS に発信する等により顧客満足度を向上させる。
●アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握する。	□各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年 1 回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握しサービス向上に努める。
●サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図る。	□改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行う。引き続きジョイナステラス各店舗と連携するなど会員特典の充実等を図り、会員数増をめざす。

(2) 的確な施設提供の実現について

[取組内容] ●効率的且つ安定した施設の開館・運営を行う。	[達成指標] □開館日数 345 日 休館日 14 日 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日 施設点検・消防設備点検 14 日
●利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図る。	□様々な媒体を活用し、施設の PR を充実させ稼働率向上に努める。
●施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行う。	□舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応する。
●周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献する。	□ジョイナステラス 1・2・3、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線駅との連携事業を展開していく。
●施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図る。	□参加のハードルが低いワンコインコンサートを引き続き実施するとともに、施設の有効活用を図る。

●利用者へ施設の諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信する。	□直近の諸室の空き情報を更新し、ホームページの SNS に発信すると共にホームページから予約システムの予約状況にリンクしている。
--------------------------------	--

(3) 的確な広報の展開について

[取組内容] ●地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担う。	[達成指標] □情報コーナーでは、文化芸術の資料として類似の他施設情報の紹介を行うなど文化芸術情報を得る事ができるよう整備する。
●情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施する。	□毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイムな更新をはじめ、当事業体ならではの媒体（交通広告・広報紙等）を有効に活用しPRを行う。

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

[取組内容] ●事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的な管理とホスピタリティ精神をもった運営を行う。	[達成指標] □以下の通り人員を配置し運営する。 【運営スタッフ】 ※2 交代、常時 2 名以上配置 館長 1 名 副館長 1 名 職員 5 名 【舞台技術】 ※利用状況により 2～4 名 職員 4 名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ 18 名（地域採用）
●職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施する。	□機材研修、個人情報保護研修、消防訓練等を実施し、運営に役立てる。

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をする。サンハートは開館から 35 年を経過することになり、設備全体が老朽化してきている。出来ることが限られる中で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めていく。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

[業務内容] ●安全・安心できる施設の維持	[達成指標] □設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施する。
---------------------------------	--

●定期的な設備点検	□老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図る。
●必要に応じた緊急点検	□月 1 回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年 1 回行う。
●施設設備の予防保全	□施設設備等の中長期修繕計画や修繕・改修について、早めに施設情報を提供し、関係各所に働きかけるとともに、利用受付・打ち合わせ時に利用者に備品や設備の正しい取り扱いを説明し、安全で確実な利用を促進する。

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容] ●安心できる環境の維持	[達成指標] 以下 7 点を達成指標とする。 ①清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施する。 ②美観を維持するように取り組む。 ③環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努める。 ④空気環境測定（VOC 等含む）を実施する。 ⑤社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定する。 ⑥ヨコハマ 3 R 夢など市の施策や事業に協力する。 ⑦ 空気環境測定結果の報告書を作成する。
----------------------------------	---

その他の計画

(1) 危機管理対策について

[取組内容] ●緊急時の対応	[達成指標] □緊急内容別（事故、犯罪、火災、設備故障など）に連絡網の整備を行う。
●利用者の安全・安心を確保	□大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整える。

防災・防犯管理	以下 6 点を達成指標とする。 ①平成 24 年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備える。 ②緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出する。 ③近隣在住職員を引き続き確保する。 ④事故、犯罪及び火災等を発生させない為に、職員・ビルの警備員による定時巡回を実施する。 ⑤消防計画書を作成し、自衛組織を結成することで、日常の防火・防災に努める。また、催事の際は、避難導線の確保等の指導を行うとともに、消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年 2 回防火・防災訓練を実施する。 ⑥所轄の旭警察署に協力を得て防犯訓練を実施する
---------	--

(2) 自己評価・PDCAサイクルの活用について

[取組内容] ●日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）	[達成指標] □業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこなう。
●業務計画書及び業務報告書の作成・管理（利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定）	□PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取り組む。
●モニタリングの実施（モニタリングへの対応・体制の整備）	□業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築する。
●自己評価の実施（PDCAサイクルの導入と確実な運用）	□利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組む。 □自主事業イベントの参加者・来場者に向けたアンケート集計結果をもとに事業担当会議を行い、今後の事業計画内容に反映出来るものは取り組む。

6 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容] ●管理運営コストの削減に努める。	[達成指標] 以下の 3 点を達成指標とする ① 無駄な光熱水費の削減 ② SDGs の観点からもチラシ等の印刷関係費を可能な限り削減し、SNS での積極的な展開 ③ 予防保全の考え方に基づいた計画的な修繕、日常点検により不具合や破損等の早期発見による修繕費の低減
---------------------------------------	---

(2) 収入向上の努力について

[取組内容] ●事業収益向上、規制緩和による新規利用層の獲得	[達成指標] 以下３点を達成指標とする。 ① 幅広い世代の利用者を獲得する為にジャンルを広げた自主事業による収入増を見込むと共に貸館利用層の拡大を目指す ② まだ利用率向上の余地がある諸室の利用規則の緩和や見直しを横浜市・旭区と共に検討し柔軟な対応により新規利用層の獲得を目指す ③ 諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図る
--	--

(3) 収支予算書

項 目	予算額	備 考
収入		
指定管理料収入	123,872,000	
利用料金収入	29,000,000	
指定管理事業収入	7,140,000	
その他収入	600,000	
収入合計	160,612,000	

支出		
人件費	79,697,000	
事務費	5,925,000	
指定管理事業費	7,670,000	
管理費	63,989,000	
公租公課	12,000	
事務経費	3,319,000	
支出合計	160,612,000	
収支差額	0	

【自主事業一覧】

(税込／単位：千円)

分類	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場 見込	事業費
鑑賞	計3回 4・8・1月	あさひ亭まねき 寄席	ホール	著名な真打や若手落語家による公演。落語だけではなく色物などバラエティに富んだ演目のほか、横浜出身者集結などテーマ性でも動員を図る。	900人	1,590,000円 4月 450,000円 8月 600,000円 1月 540,000円
鑑賞	10月	ジャズプロ・サ テライト企画	ホール	ジャズの街・横浜として開催しているジャズプロムナード関連企画「ジャズプロ・サテライト」。ジャズピアノ公演を開催。	300人	750,000円
鑑賞	計2回 12・3月	最優秀賞受賞者 記念コンサート	ホール	アンサンブルコンクールにて最優秀賞を受賞した組による、良質なクラシックコンサート。今回は、受賞組が少ないことから2回別日に開催する。	600人	200,000円 12月 100,000円 3月 100,000円
鑑賞	計1回 9月	ワンコインコン サート	ホール	アンサンブルコンクールにて優秀賞を受賞した組による、コンサート。低価格なチケット料金に設定し、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	300人	100,000円
鑑賞	11月	アンサンブルコ ンクール	ホール	昨年からの出場部門を増やし、コンクールに参加組数の増枠を狙う。入賞者は主催事業での出演機会提供の他、アウトリーチ事業への派遣アーティストとして、積極的に発信していく。	10組	600,000円
鑑賞 交流	1月	バリアフリーコ ンサート	ホール	コンサートに出向くことが難しい方たちに寄り添った環境（車いすでの鑑賞や、入退場自由など）音楽体験の場の創出し、障がいの有無にかかわらず音楽を楽しむ機会を	300人	600,000円

				提供する。		
鑑賞 交流	8 月	サンハートオー プンデー	ホール／音 楽ホール／ カルチャー 工房／アー トギャラリ ー	サンハートの開館を 記念したオープンデ ー。音楽や芸術を気軽 に触れるきっかけの 場とサンハートの存 在を区民に知っても らう。	600 人	200,000 円
鑑賞 交流	下期	国際園芸博記念	ホール ギャラリー	来年 3 月に地元で開 催される国際園芸博 の機運助勢を図る	300	200,000 円
交流	計 8 回 学校 4 回 福祉 1 回 その他 3 回	アウトリーチ	旭区内各所	小学校へアーティスト と共に訪問する学 校プログラムの他、福 祉施設や保育園等へ、 出前コンサートやワ ークショップをお届 けする。コンクール受 賞者への演奏機会提 供の場も兼ねている。	500 人	440,000 円
交流	月 1 回	おはなしかい	ホール	未就学児とその保護 者を対象とした絵本 の読み聞かせ会。サン ハートの読み聞かせ 講座を修了した「読み 聞かせサポーター」が 企画運営を担当する。 絵本の読み聞かせを 通じた地域貢献を目 指す。	180 人 15 組 各月	60,000 円
交流	通年	すくすくキッズ プログラム	ホール	未就学児親子対象向 けコンサートを定期 的に実施。また、乳幼 児を対象としたワー クショップを開催予 定。	1300 名	500,000 円 コンサート 250,000 円 ワークショップ 250,000 円
交流	7 月・8 月	夏休み子供体験 講座	ホール／ミ ーティング ／アートギ ャラリー	小学生向けに夏休み 期間に、充実したプロ グラムを提供する。音 楽鑑賞会、美術講座、 科学捜査体験などを 検討中。	250 名	400,000 円 美術 150,000 円 科学 50,000 円 音楽 200,000 円

交流	計 4 回 6 月・8 月・ 10 月・2 月	あさひ名画座企 画委員	ホール	映画イベントに特化 した企画・運営を行っ ていただく。昨年上映 した保土ヶ谷区出身 の原節子出演作品が 好評につき三部作全 作上映を行う他、バラ エティ豊かな旧作を 上映。	1000 名	600,000 円
創造	5 月～7 月	ゴスペルワーク ショップ	ホール	講師にゴスペルスパー クル率いる「金井恵 莉花」を迎え、幅広い 世代を集めたワーク ショップを開催する。 初心者でも参加しや すい開かれたワーク ショップを目指す。	80 名	450,000 円
創造	通年	小規模ワークシ ョップ	カルチャー 工房／ホー ル	サンハートが地域の 方々のサードプレイ スになるよう小規模 ワークショップを複 数開催し、「交流の場 ＝サンハート」の図式 が定着できることを 目標とする。今年度は 「ヨガ」「エクササイ ズ」などを予定してい る。	670 名	200,000 円 ヨガ 50,000 円 エクササイズ 150,000 円
創造	通年	ホールでピアノ	ホール 音楽ホール	サンハートのホール・ 音楽ホールのフルコ ンサートグランドピ アノを1時間単位で試 弾できる企画。	360 名	5,000 円
	通年	サンハート友の 会		固定顧客層への優遇 体制を整え、顧客満足 度向上を図る。	100 名	5,000 円
	通年	備品購入 郵送費		自主事業に必要な備 品購入費や、他館への チラシ発送費など。		500,000 円
	通年	取材・打合せ諸 経費		その他諸経費		100,000 円

令和8年度 「旭区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	説明
指定管理料	123,872,000		123,872,000	0		横浜市より
利用料金収入	29,000,000		29,000,000	0		
指定管理事業収入	7,140,000		7,140,000	0		
事業への参加料等	6,500,000		6,500,000	0		
印刷代	180,000		180,000	0		
自動販売機手数料	460,000		460,000	0		
駐車場利用料収入	0		0	0		
雑入	600,000		600,000			
			0			
その他（預かりチケット）	600,000		600,000	0		
収入合計	160,612,000	0	160,612,000	0	0	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	79,697,000	0	79,697,000	0	0	
給与・賃金	79,697,000		79,697,000	0	0	
社会保険料			0			
通勤手当			0			
健康診断費			0			
勤労者福祉共済掛金			0			
退職給付引当金繰入額			0			
事務費	5,925,000	0	5,925,000	0	0	
旅費	50,000		50,000	0		
消耗品費	350,000		350,000	0		
会議賄い費	20,000		20,000	0		
印刷製本費	1,300,000		1,300,000	0		チラシデザイン・印刷他 広告宣伝関係費
通信費	800,000		800,000	0		
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0		目的外使用料
その他	0		0	0		
備品購入費	1,452,000		1,452,000	0		
図書購入費	156,000		156,000	0		
施設賠償責任保険	445,000		445,000	0		ハンドベル動産、公文協貸館対応保険料含む
職員等研修費	108,000		108,000	0		
振込手数料	4,000		4,000	0		
リース料	1,240,000		1,240,000	0		コピー機他
手数料	0		0	0		
地域協力費	0		0	0		
事業費	7,670,000	0	7,670,000	0	0	
指定管理事業費	7,670,000		7,670,000	0	0	
管理費	63,989,000		63,989,000	0	0	
光熱水費	17,226,000		17,226,000	0	0	
電気料金	9,090,000		9,090,000	0	0	
ガス料金	5,736,000		5,736,000	0	0	
水道料金	2,400,000		2,400,000	0	0	
清掃費	7,775,000		7,775,000	0	0	日常・定期清掃
修繕費	3,340,000		3,340,000	0	0	
機械警備費	2,338,000		2,338,000	0	0	
設備保全費	33,310,000		33,310,000	0	0	
空調衛生設備保守	3,250,000		3,250,000	0	0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	4,208,000		4,208,000		0	
害虫駆除清掃保守	250,000		250,000		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	25,602,000		25,602,000	0	0	組合管理費・舞台保守費
共益費	0		0		0	
公租公課	12,000	0	12,000	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	12,000		12,000	0	0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	3,319,000	0	3,319,000	0	0	
本部分	3,319,000		3,319,000	0	0	労務・経理等本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一ス対応費	0		0	0	0	
支出合計	160,612,000	0	160,612,000	0	0	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入	7,140,000			0		
自主事業費支出	7,670,000			0		
自主事業収支	△ 530,000			0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

■ 旭区民文化センターサンハート 令和8年度 資金計画書

収入の部																			単位:円
科目	4月	5月	6月	第一Q計	7月	8月	9月	第二Q計	上期計	10月	11月	12月	第三Q計	1月	2月	3月	第四Q計	下期計	合計
指定管理料	10,428,000	9,683,000	10,058,000	30,169,000	11,794,000	9,839,000	10,123,000	31,756,000	61,925,000	10,062,000	9,446,000	11,539,000	31,047,000	10,861,000	10,290,000	9,749,000	30,900,000	61,947,000	123,872,000
利用料金収入	2,326,000	2,329,000	2,362,000	7,017,000	2,469,000	2,168,000	2,507,000	7,144,000	14,161,000	2,589,000	2,622,000	2,400,000	7,611,000	2,610,000	2,169,000	2,449,000	7,228,000	14,839,000	29,000,000
指定管理事業収入	505,000	255,000	355,000	1,115,000	755,000	1,205,000	355,000	2,315,000	3,430,000	1,455,000	545,000	405,000	2,405,000	655,000	345,000	305,000	1,305,000	3,710,000	7,140,000
事業への参加料等	450,000	200,000	300,000	950,000	700,000	1,150,000	300,000	2,150,000	3,100,000	1,400,000	500,000	350,000	2,250,000	600,000	300,000	250,000	1,150,000	3,400,000	6,500,000
印刷代	15,000	15,000	15,000	45,000	15,000	15,000	15,000	45,000	90,000	15,000	15,000	15,000	45,000	15,000	15,000	15,000	45,000	90,000	180,000
自動販売機手数料	40,000	40,000	40,000	120,000	40,000	40,000	40,000	120,000	240,000	40,000	30,000	40,000	110,000	40,000	30,000	40,000	110,000	220,000	460,000
駐車場利用料収入				0				0	0				0				0	0	0
雑入	100,000	100,000	100,000	300,000	50,000	50,000	50,000	150,000	450,000	30,000	30,000	30,000	90,000	20,000	20,000	20,000	60,000	150,000	600,000
自主事業(A型・B型)収入				0				0	0				0				0	0	0
その他(預かりチケット)	100,000	100,000	100,000	300,000	50,000	50,000	50,000	150,000	450,000	30,000	30,000	30,000	90,000	20,000	20,000	20,000	60,000	150,000	600,000
収入合計	13,359,000	12,367,000	12,875,000	38,601,000	15,068,000	13,262,000	13,035,000	41,365,000	79,966,000	14,136,000	12,643,000	14,374,000	41,153,000	14,146,000	12,824,000	12,523,000	39,493,000	80,646,000	160,612,000
支出の部																			
科目	4月	5月	6月	第一Q計	7月	8月	9月	第二Q計	上期計	10月	11月	12月	第三Q計	1月	2月	3月	第四Q計	下期計	合計
人件費	7,031,000	6,284,000	6,234,000	19,549,000	7,743,000	6,296,000	6,428,000	20,467,000	40,016,000	6,846,000	6,428,000	7,797,000	21,071,000	6,202,000	6,202,000	6,206,000	18,610,000	39,681,000	79,697,000
給与・賃金	7,031,000	6,284,000	6,234,000	19,549,000	7,743,000	6,296,000	6,428,000	20,467,000	40,016,000	6,846,000	6,428,000	7,797,000	21,071,000	6,202,000	6,202,000	6,206,000	18,610,000	39,681,000	79,697,000
社会保険料																			0
通勤手当																			0
健康診断費																			0
勤労者福祉共済掛金																			0
退職給付引当金繰入																			0
事務費	536,000	510,000	557,000	1,603,000	411,000	395,000	557,000	1,363,000	2,966,000	644,000	385,000	565,000	1,594,000	411,000	395,000	559,000	1,365,000	2,959,000	5,925,000
旅費	4,000	4,000	4,000	12,000	4,000	4,000	4,000	12,000	24,000	4,000	4,000	4,000	12,000	4,000	4,000	6,000	14,000	26,000	50,000
消耗品費	30,000	30,000	30,000	90,000	30,000	30,000	30,000	90,000	180,000	30,000	30,000	30,000	90,000	30,000	20,000	30,000	80,000	170,000	350,000
会議賄い費	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000	10,000	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000	10,000	20,000
印刷製本費	75,000	75,000	175,000	325,000	75,000	75,000	175,000	325,000	650,000	75,000	75,000	175,000	325,000	75,000	75,000	175,000	325,000	650,000	1,300,000
通信費	70,000	60,000	70,000	200,000	70,000	60,000	70,000	200,000	400,000	70,000	60,000	70,000	200,000	70,000	60,000	70,000	200,000	400,000	800,000
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横浜市への支払分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他				0				0	0										0
備品購入費	87,000	107,000	157,000	351,000	97,000	107,000	157,000	361,000	712,000	107,000	97,000	165,000	369,000	97,000	117,000	157,000	371,000	740,000	1,452,000
図書購入費	13,000	13,000	13,000	39,000	13,000	13,000	13,000	39,000	78,000	13,000	13,000	13,000	39,000	13,000	13,000	13,000	39,000	78,000	156,000
施設賠償責任保険	107,000	115,000	0	222,000	0	0	0	0	222,000	223,000	0	0	223,000	0	0	0	0	223,000	445,000
職員等研修費	35,000	6,000	7,000	48,000	7,000	6,000	7,000	20,000	68,000	7,000	6,000	7,000	20,000	7,000	6,000	7,000	20,000	40,000	108,000
振込手数料	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000	2,000	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000	2,000	4,000
リース料	110,000	100,000	100,000	310,000	110,000	100,000	100,000	310,000	620,000	110,000	100,000	100,000	310,000	110,000	100,000	100,000	310,000	620,000	1,240,000
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定管理事業費	770,000	300,000	400,000	1,470,000	700,000	1,300,000	400,000	2,400,000	3,870,000	900,000	700,000	400,000	2,000,000	1,100,000	400,000	300,000	1,800,000	3,800,000	7,670,000
自主事業費	770,000	300,000	400,000	1,470,000	700,000	1,300,000	400,000	2,400,000	3,870,000	900,000	700,000	400,000	2,000,000	1,100,000	400,000	300,000	1,800,000	3,800,000	7,670,000
管理費	4,746,000	4,997,000	5,404,000	15,147,000	5,938,000	4,995,000	5,369,000	16,302,000	31,449,000	5,470,000	4,854,000	5,331,000	15,655,000	6,157,000	5,551,000	5,177,000	16,885,000	32,540,000	63,989,000
光熱水費	950,000	1,106,000	1																